

令和 7 年 10 月 10 日

令和 7 年度病害虫発生予察特殊報（第 1 号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：ショウガ褐色しみ病
2. 病原菌：*Musidium stromaticum*
3. 作物名：ショウガ
4. 発生地域：和歌山市
5. 発生確認の経過および県内外での発生状況

令和 6 年 7 月、和歌山市のショウガ栽培ほ場において、根茎に褐変が生じている株が確認された（図 1）。当所において、分離菌のショウガ根茎への病原性を確認した後、形態観察および塩基配列の検討を行ったところ、本県では未発生の *Musidium stromaticum* によるショウガ褐色しみ病であることが確認された。本病は令和元年に高知県で初めて確認されている。

6. 病徴および伝染環

ショウガの根茎表面に褐色円形斑点を形成し、直径は 3～20mm、1 根茎あたり 1～数か所発生し、斑点が融合する場合もある。また、鹿児島県において、同菌による茎枯れ症状（地際部の褐変、偽茎の倒伏）も報告されている。

詳細な伝染環は不明であるが、土壌伝染および種根茎伝染と考えられている。

7. 防除対策

- 1) 定植前に太陽熱土壌消毒等を実施する。
- 2) 健全な種根茎を使用する。
- 3) 令和 7 年 10 月 1 日現在、本病に対して、ベンレート水和剤（1000 倍散布、収穫 21 日前まで、2 回以内）とトリフミン水和剤（1000 倍散布、収穫前日まで、5 回以内）の登録がある。

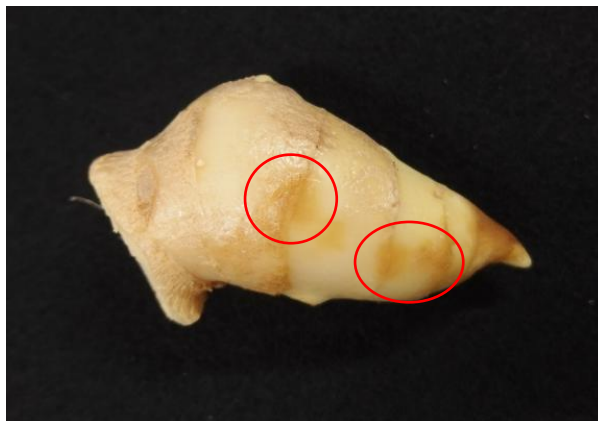


図 1 根茎の褐変症状

和歌山県農作物病害虫防除所  
電話：0736 (64) 2300